様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 27 年度
１次評価日（主幹等）	28 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	28 年 3 月 31 日

1 事業名	戦没者慰霊祭開催事業	コード	165127

2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	社会福祉課	作成者	瀧澤修

3 事業概要				
目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
	政　策	総合計画の推進に向けて	施　策	その他
予算科目		戦没者事業費	業務委託	なし（直営）
実施義務		あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
根拠法令		なし		

●事業の内容（DO）

4 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		平和の尊さを改めて考えるために、戦没者に対し遺族等が追悼の意を捧げる場所を設ける
目的	対象者	戦没者の遺族
	意　図	戦争等で亡くなった1073柱の安らかな眠りを祈り、恒久平和を誓うため追悼式を挙行

5 事業の実施内容

＊27年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

第52回岡谷市戦没者追悼式を開催した
日時　平成27年9月23日
　　午前10時～午前11時30分
場所　岡谷市文化会館（カノラホール）
内容　戦没者の慰霊及び追悼

前年度の課題への対応	

6 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	25年度	26年度	27年度	28年度（予算）
① 活動指標（指標名）	戦没者慰霊祭開催数			単位 回
実績値	1	1	1	
＊指標の説明	戦没者慰霊祭開催数			
② 成果指標（指標名）	戦没者慰霊祭参加者数			単位 人
目標値	170	150	130	120
実績値	123	130	108	
達成度	72.4%	86.7%	83.1%	
＊指標の説明	戦没者慰霊祭に参加した数			
＊目標値の設定方法の説明	過去2年間の実績値を参考に設定			

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		25年度	26年度	27年度	28年度（予算）
① 直接事業費		155,069	161,380	167,364	172,000
	経常経費	155,069	161,380	167,364	172,000
	臨時的経費				
	＊臨時的経費の説明				

区　分		25年度	26年度	27年度	28年度（予算）
② 人件費		1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
	正規職員の人数（人）	0.15	0.15	0.15	0.15
③ 合計コスト（①＋②）		1,355,069	1,361,380	1,367,364	1,372,000
	前年度比		100.5%	100.4%	100.3%
	財源内訳　一般財源	1,355,069	1,361,380	1,367,364	1,372,000
	財源内訳　特定財源	0	0	0	0
	＊特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト		1,355,069	1,361,380	1,367,364	
	前年度比		100.5%	100.4%	
⑤ コストに関する補足説明					

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		25年度	26年度	27年度	28年度（予算）
岡谷市遺族会補助金	件数	1	1	1	1
	金額	44,000	44,000	44,000	44,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	44,000	44,000	44,000	44,000
	割合	28.37%	27.26%	26.29%	25.58%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　妥当性　標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		0
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　有効性　標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　83.1%	1	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　83.1%		0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 戦没者遺族の高齢化などにより、戦没者追悼式への参加者が年々減少している。
改善方法	（上記の課題をふまえて28年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 戦没者遺族のほか、広く市民に周知して戦没者への慰霊とともに平和への祈り等について戦没者追悼式の参加を呼びかける。
改善開始時期	平成28年4月から

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による28年度の優先度 *H26年度施策評価表より転記すること	